

小学生記者が取材しました!

# 北区のNEWな建物

工事・建て替えの秘密にせまる!!

北区内で行われている公共施設の整備について、小学生広報記者7人が取材しました。昨年5月号で紹介した事業を中心に、現在の状況をお知らせします。

私たちが取材しました!

## 消防署チーム

左から  
伊澤佑佳さん  
(あいの里西小6年)  
鈴木七海さん  
(篠路西小5年)  
見込将太くん  
(屯田北小5年)



## 学校チーム

左から  
弓山富雄くん  
(新琴似南小5年)  
佐々木輝さん  
(幌北小5年)  
山田えみりさん  
(白楊小5年)  
林うさぎさん  
(北九条小5年)

厚い壁の中身は頑丈な鉄骨



学校は、生徒が勉強するだけではなく、災害が起こった時には地域の人みんなが避難する場所なので、大地震にも耐えられるようにしています。

昔建てられた学校の中には地震に弱いものがあるためです。当時の基準では十分と思われていましたが、安全性を高めるため工事を行うことになりました。

## 耐震化のわけを教えます!

場所:

新琴似中学校  
(北区新琴似7の4)

工事期間:

平成21年7月~22年3月

【教育委員会計画課 ☎ 211-3835】

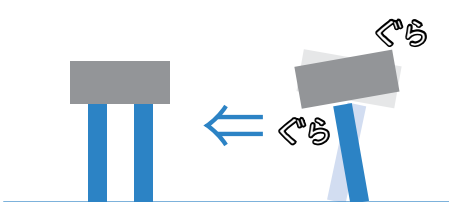
どうして耐震化が必要なの?

どんなことをしているの?

学校を棒と重りに例えると...

支えを増やせば安定!

現在は支えが1本の状態。



まず、壁を調べて補強する場所を決め、壁の中に鉄骨を入れたり外側に支えをつけたりして補強します。見た目はあまり変わりませんが、厚くなった壁には柵のような鉄骨が入っていて、地震の揺れに耐えられるようになっていきます。

壁を触って硬さチェック!



工事では大きな音やほりが出ますが、周りの人たちの迷惑にならないように、壁で囲むなどの工夫をしています。また、冬休みなど、生徒のいない期間に集中して工事を行っています。

壁の外に取り付ける支えは簡単に登れない形にするなど、地震に対する安全だけでなく、工事の後に学校を使う人の安全のことも考えていました。

## 地震に関する法律年表

年	できごと
1950	建築基準法制定
1968	十勝沖地震 建物がたくさん壊れた!
1975	新琴似中学校誕生 壊れにくくするため、基準を見直し
1981	建築基準法施行令改正
1995	建築物の耐震改修の促進に関する法律 今ある建物を直して使おうという法律。古い基準の建物をどんどん直していきます!